

4 地域及び遺産地域全体の評価結果

評価期間（2019～2024 年）の全体目標及び管理目標の評価結果は下表のとおり。

1. 全体目標の評価結果

全体目標	カテゴリー	指標	調査項目	指標別評価				遺産地域全体	
				奄美大島	徳之島	沖縄島北部	西表島	カテゴリー評価	全体目標評価
遺産価値を表す固有種・絶滅危惧種とその生息・生育環境が維持、強化されていること	(1) 種の保全状況	1. アマミノクロウサギの生息状況	ルートセンサスに基づく糞粒数	➡	➡				
		2. オオトラツグミの生息状況	一斉調査に基づいた目視と鳴き声による発見個体数	➡					
		3. ヤンバルクイナの生息状況	プレイバック調査に基づく分布範囲及び推定個体数			➡			
		4. ノグチゲラの生息状況	プレイバック調査に基づく分布範囲			➡			
		5. カエル類の生息状況	ルートセンサスに基づく個体発見頻度			➡			
		6. イリオモテヤマネコの生息状況	センサーカメラデータに基づく複数の固定サイトにおける定住個体の有無				➡		
		7. カンムリワシの生息状況	ルートセンサスに基づく個体発見数				➡		
		8. 遺産価値を表す種全体の生息生育状況	①センサーcameraデータ及び巡視、パトロール、分布調査等における希少動物の発見地点情報	評価対象外※1	評価対象外※1	評価対象外※1	評価対象外※1		
			②巡視、パトロール、分布調査等における希少植物の発見地点情報	評価対象外※1	評価対象外※1	評価対象外※1	評価対象外※1		
			③遺産価値を表す種のうち、専門家意見に基づいて抽出された主要な種のレッドリストランクの変化	評価対象外※2	評価対象外※2	評価対象外※2	評価対象外※2		
	(2) 生息・生育環境の保全状況	9. 森林の面的な変動	①衛星画像	➡	➡	➡	➡		
		10. 主要生息環境の変動	①定点カメラによる景観写真	情報不足※3	情報不足※3	情報不足※3	情報不足※3		
			②森林生態系保護地域内のモニタリング	調査周期外	調査周期外	調査周期外	➡		

※1：解析・評価手法について、科学委員会委員にヒアリングしつつ検討中。

※2：レッドリストランクを基に遺産価値を表す種全体の生息状況を評価することは、空間スケールや評価基準が異なるため適切ではないと科学委員からの指摘を受け、モニタリング計画改定版の指標では削除することとしたため。

※3：調査対象地の検討・選定等により調査開始が遅かったため、評価に十分な情報が得られていない。

2. 管理目標ごとの評価結果

管理目標	カテゴリー	指標	調査項目	指標別評価				遺産地域全体	
				奄美大島	徳之島	沖縄島北部	西表島	カテゴリー評価	管理目標評価
1..影響固有種が有り、その減少/絶滅する危機感と影響へ改善人間	(1)個体の非自然死	11. 交通事故の発生状況	アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ、ケナガネズミ、イリオモテヤマネコの交通事故確認件数	●	●	●	●	△	△
		12. 外来種による捕殺状況	アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ、ケナガネズミ、イリオモテヤマネコのイヌ・ネコによる捕殺被害確認件数	●	●	●	●		
	(2)獲個体の採取捕	13. 動植物の密猟・密輸に関する情報の収集	①密猟・密輸及びその疑いのある事案(違法採集や持ち出し等)の発生件数	●	●	●	●	△	△
			②動物を採取するための捕獲器等の数	●	●	●	●		
	2..脅威となる外来種が減少していること	(1)侵略的外来種の生息・生育状況	14. フイリマンガースの生息状況	●		●		△	△
			15. ネコの生息状況及び飼養状況	①遺産地域・緩衝地帯におけるネコの生息状況	●	●	●	●	
		16. 外来種の侵入状況	②飼い猫の管理状況	●	●	●	●		
			①遺産地域・緩衝地帯で発見された外来種の数・地点情報など	●	●	●	●		
3..遺産地域や周辺の観光利用が持続可能な方法で行われていること	(1)観光利用の状況	17. エコツーリズムを含む観光利用の状況	①島別の入込者数・入域者数(観光統計)	●	●		●	△	△
			②宿泊施設の収容可能人数		評価対象外	評価対象外	評価対象外		
			③沖縄島北部の入込者数(全国道路・街路交通情勢調査)			●			
			④自然環境観光施設の利用者数		評価対象外	評価対象外	評価対象外		
			⑤エコツアーガイド登録者数・保全利用協定締結事業者数	●	●	●	●		
			⑥主要なエコツアー利用場所の利用者数	●	●	●	●		
			⑦島内の各エコツアー利用場所の利用状況	●	●	●	●		
	伴(2)う観光環境負荷に	18. エコツアー利用場所の環境変化	①定点カメラデータに基づくエコツアーユニットの景観	●	●	●	●	△	△
			②主要なエコツアーユニット等における定点モニタリング調査の実施	●	●	●	●		
4..予兆が早期に把握され、気候変動や災害の影響又はその影響	(1)植物相の変化と気象変化	9. 森林の面的な変動	①衛星画像	●	●	●	●	△	△
		19. モデル地域における森林及び植生の変化	①遺産地域内の固定調査サイトにおける木本類の種数、種構成、地上部炭素現存量、林床と低木層の被度	●		●	●		
			②陸域植生に関するモニタリング	●	●	●	●		
	動(2)物相の変化と気象変化	20. 動物相及び主要生息環境の変化	遺産地域内の固定調査サイトにおける鳥類の種数、種構成、バイオマス	●		●	●	△	△
		10. 主要生息環境の変動	①定点カメラによる景観写真	●	●	●	●		

※1 : 初回の調査のため、状態(色で表示)の評価のみを行った。

※2 : 調査対象地の検討・選定等により調査開始が遅かったため、評価に十分な情報が得られていない。